

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	胃癌 nab-PTX療法
疾患名	胃癌
診療科名	外科
登録医師名	濱野 亮輔

臨床区分

<input checked="" type="checkbox"/> 日常診療
<input type="checkbox"/> 単施設自主研究
<input type="checkbox"/> 他施設自主研究
<input type="checkbox"/> 市販後臨床研究
<input type="checkbox"/> 治験

抗癌剤適応分類

<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発化学療法
<input type="checkbox"/> 術後化学療法
<input type="checkbox"/> 術前化学療法
<input type="checkbox"/> 局所療法
<input type="checkbox"/> その他

登録日	2013年4月4日
1クール期間	21日
実施回数	/回

Rb	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日														注意コメント		
							day1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	
1	生理食塩液	250	mL	点滴静注	メイン		●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを装着すること
2	生理食塩液 デキザート注射液 6.6mg	100 1	mL 瓶	点滴静注	側管	15min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	投与終了後、生理食塩液でフラッシュすること。
3	生理食塩液 アブラキサン点滴静注用	100 260	mL mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	メイン	30min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	各バイアル生食20mLで溶解し、使用量のみ空容器に注入 ※メインルート使用（生食のみ配合可能） ※インラインフィルターを使用しないこと。 ※特定生物由来製剤であるため、ロット番号入力を忘れないこと。 ※特定生物由来製剤であるため、同意書が必要
4																							

備考欄

文献

減量・中止基準

【投与基準・減量の目安】  
減量基準に該当した場合はコース内投与基準/次コース開始基準に回復するまで投与をスキップ/延期し、減量して再開する。なお、day15の投与をスキップした場合はday21以降は次コースを開始することができず

	次コース開始基準	減量基準
好中球数	≥1500/mm <sup>3</sup>	<500/mm <sup>3</sup>
発熱性好中球	認めない/回復	発現
血小板数	≥100000/mm <sup>3</sup>	<50000/mm <sup>3</sup>
AST,ALT	≤ULN×2.5倍 (原疾患に起因または肝転移を有する場合はULN×5倍)	医師が同一量で投与継続困難と判断

【減量の目安】  
1段階減量：220mg/m<sup>2</sup> 2段階減量：180mg/m<sup>2</sup>

参照：がん化学療法レジメンハンドブック改訂第7版 p428-429